

原子力防災訓練実施結果の報告について

平成26年1月15日
北陸電力株式会社

当社は、本日（1月15日）、昨年11月16日に実施した原子力防災訓練の結果を原子力規制委員会に報告しましたので、お知らせします。

本日（1月15日）、原子力災害対策特別措置法第13条の2第1項の規定¹に基づき、昨年（平成25年）11月16日に実施した原子力防災訓練の結果をとりまとめ、原子力規制委員会へ報告しました。

今後とも、原子力防災体制及び緊急時対応の継続的改善に取り組んでまいります。

以 上

添付資料：「防災訓練実施結果報告」の要旨

1 原子力災害対策特別措置法第13条の2第1項の規定

原子力事業者は、防災訓練の実施の結果を原子力規制委員会に報告するとともに、その要旨を公表しなければならないことを規定。

「防災訓練実施結果報告」の要旨

報告項目	主な報告内容
防災訓練実施年月日	平成 25 年 11 月 16 日
防災訓練参加人数	236 名
防災訓練のために想定した原子力災害の概要	大規模地震を起因とする全交流電源喪失により原子炉除熱機能喪失に至る原子力災害を想定
防災訓練の内容	(1) アクシデントマネジメント訓練 (2) 通報訓練 (3) 緊急被ばく医療訓練 (4) 緊急時環境放射線モニタリング訓練 (5) 避難誘導訓練 (6) 安全強化策の実動訓練 大容量電源車による給電訓練 大坪川ダム緊急取水訓練 耐震性貯水槽から屋外消火系への送水訓練 代替注水ラインナップ訓練 (7) オフサイトセンター要員派遣訓練 (8) 遠隔操作可能な資機材操作訓練
防災訓練の結果の概要	計画していた各訓練については、特に大きな支障がなく遂行でき、原子力防災組織の技能向上及び緊急時対応業務の習熟を図ることができた。
今後の原子力災害対策に向けた改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子力防災組織の緊急時対応能力向上の観点から、今後はシミュレータの事象進展等にあわせて対応する実時間での訓練やブラインド訓練を取り入れていく。なお、ブラインド訓練における訓練事務局からの情報提示において、誤ったプラント情報を提供するなど、臨機の対応を促すものとするとも検討する。 ・ 1号機は全交流電源喪失時に直流負荷の抑制により、中央制御室で確認できる原子炉の情報が水位、圧力のみとなるが、よりの確に原子炉の状態が把握できるよう、抑制する直流負荷の範囲の見直しを行い、他の情報も確認できるようにする。

(参考 その他教育・訓練の実績)

平成 25 年 4 月 1 日～平成 25 年 11 月 16 日の期間内で計 330 回実施

訓練項目	訓練内容
緊急時の電源確保に係る訓練	電源車等による給電
緊急時の最終的な除熱機能の確保に係る訓練	消防車による使用済燃料貯蔵プールへの送水 等
緊急時の運転操作に係る訓練	緊急時のプラント対応操作に係るシミュレータ訓練 等
水素爆発の防止に係る訓練	原子炉建屋ブローアウトパネルの開放
その他の訓練	海水系ポンプモータの復旧 ホイールロードによるがれき撤去 等